

週間漁海況情報 2025年第47号

令和7年11月25日発行

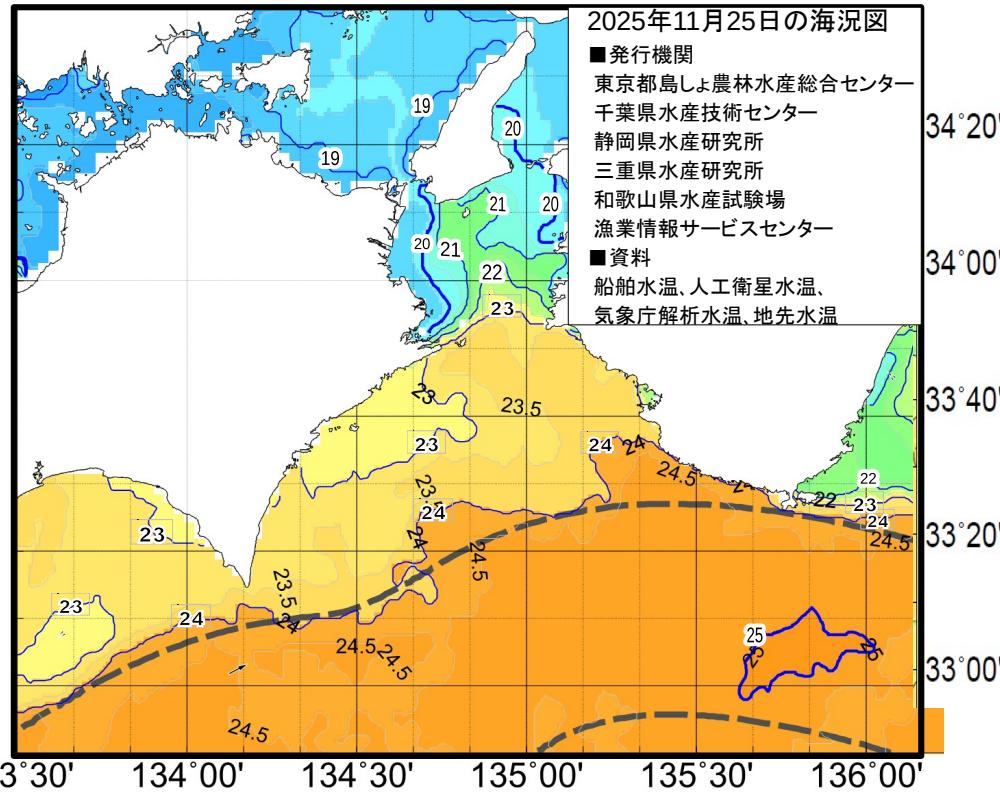
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖15マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は24~25°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で18~19、紀伊水道で19~22、海部沿岸で22~23°C台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

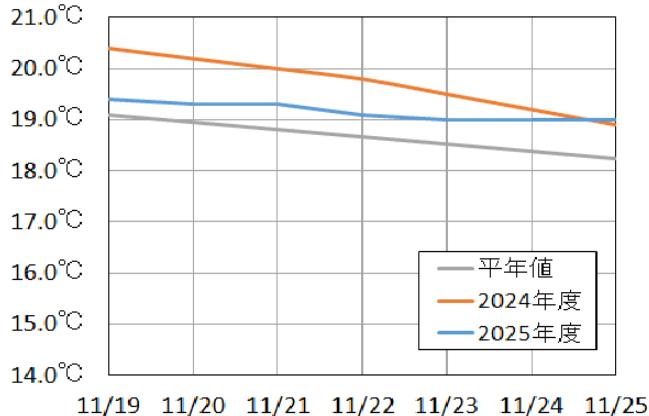
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

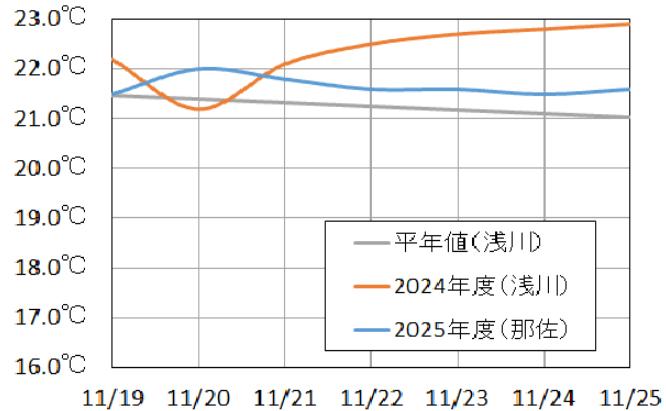
2. 地先水温(11月19日~11月25日 浅川地区は水温計故障のため那佐地区の水温を用いた。)

鳴門地区の水温は、19.4~19.0°Cで「平年並み」から「やや高め」で推移。那佐地区は、22.0~21.5°C。鳴門と那佐地区の水温差は、2.1~2.7°Cだった。

鳴門地区



那佐地区(昨年値と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 平年値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(11月26日~12月2日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (11月17日～11月23日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが減って24.8トン水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて3.7トン、あまだい類が増えて1.9トン水揚げされた。

底びき網では、えそ類が2.6トン、ハモが減って中主体に0.7トン、クマエビが減って0.6トン、かます類が減って0.6トン、モンゴウイカが増えて0.3トン水揚げされた。

建縄では、カワハギが大主体に0.8トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆あじ級主体に1.8トン、

アイゴが大きく減って0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 3)

大型定置網では、マルソウダが0.7トン、メアジが減って0.7トン、

ヒラソウダが大きく増えて0.6トン、マルアジが大きく増えて小小主体に0.4トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	46	シラス	24,840	540		↓
	延縄	65	サワラ	3,730	57		↗
		82	あまだい類	1,882	23		↗
	底びき網	22	えそ類	2,630	120		→
		19	ハモ	737	39	中主体	↓
		22	クマエビ	586	27		↓
		20	かます類	568	28		↓
		21	モンゴウイカ	338	16		↗
	建縄	104	カワハギ	794	8	大主体	→
	小型定置網	17	マアジ	1,829	108	豆あじ級主体	↗
		14	アイゴ	313	22		↓↓
海部沿岸	大型定置網	6	マルソウダ	730	122		→
		6	メアジ	706	118		↓
		6	ヒラソウダ	638	106		↗↗
		6	マルアジ	357	59	小小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↑↑ 120-200%:↑ 80-120%:→ 50-80%:↓ 50%未満:↓↓